

CiP協議会におけるデジタルサイネージを活用した地域実証事業(案)

総務省・デジタルサイネージ標準仕様に基づくHTML5対応デジタルサイネージを活用して、最大の特徴である「一斉配信」「スマホ連携」「多言語翻訳」を活かした「2020年の街づくりのモデル」となるサービスを提供、導入効果、技術的な検証等を行う

※ 2020年の導入に向け、以下のようなテーマ候補を検討中

実証テーマ候補	実証内容	主な実証場所
多様なイベント関連情報(HTML5コンテンツ)のリアルタイム提供	<ul style="list-style-type: none"> イベント関連情報(事前告知、開場、空席状況等)の一斉告知、およびスマホと連動したリアルタイム情報サービス(詳細情報表示、予約等) イベントと連動した公共情報(交通機関運行情報、気象情報等)提供等 	竹芝地区 ※他地域と連携した実証も想定 (例) ・劇場等イベント会場 ・ホテル・学業機関 ・港(ふ頭広場 客船ターミナル等) ・オフィスビル等
外国人、海外企業等誘致を加速する言葉の壁が無い街づくり	<ul style="list-style-type: none"> クラウド型リアルタイム翻訳を活用した多言語翻訳サービス(サイネージ上の翻訳、スマホへの翻訳結果の表示等)等 	
災害時の安全確保(居住者、就労者、一時訪問者)	<ul style="list-style-type: none"> 災害時等の緊急時における災害情報や避難所、避難経路情報の提供(屋内外、地上・地下等への最適配信等) 	
コンテンツ流通を支えるデジタルサイネージプラットフォームの技術検証	<ul style="list-style-type: none"> 一斉配信のシステム・情報オペレーション検証 HTML5対応サイネージと非対応サイネージが混在した環境での相互接続、運用性の確認 Lアラート連携情報のサイネージシステムへの流通 他の地域とのコンテンツ流通・交換実証等 	竹芝地区および他地域

CiPの目指す
国内外ハブ機能イメージ



地域実証イメージ

クラウド機能
(翻訳、個人属性等)

